

図書館・書店・福祉事業所が連携した「地方創生」

～「幕別モデル」ができるまで～

幕別町図書館(北海道幕別町)

URL: <https://mcl.makubetsu.jp>

テーマ

図書館と書店等が連携した経営・運営

取組概要

2014年の図書館システム改修を契機に、それまで東京の業者を通じて行っていた図書の購入を、すべて地元書店から購入する様式に切りかえた。その際に生じた図書装備の問題を、書店が地元の福祉事業所をコーディネートしたことで、図書館と書店、福祉事業所が連携し、域内循環と障がい者の雇用を生み出す「幕別モデル」を確立させた。

取組詳細

■ すべての図書を地元書店から

年間約4,000冊購入する図書は、東京の業者から購入していた際は装備した状態で納品されていた。地元書店からの直接購入に切りかえた直後、すぐには装備された図書を納品することができなかった。

加えて、図書は定価での購入、無償での装備であったため、地元書店の装備代の負担という新たな課題も生じた。

図書館での装備も検討されたが、4,000冊の装備は日常業務を圧迫するため、図書館と地元書店で改善のための協議を重ねた。

■ 図書館・書店・福祉事業所が解決した図書の装備

図書館で障がい者の職業体験を受け入れていたことから、福祉事業所での装備作業を提案。書店のコーディネートにより、図書館が装備のレクチャーをし、福祉事業所による装備作業が実現した。

書店が図書館から発注された図書を福祉事業所に届け、福祉事業所の装備をチェックし、図書館に納品する域内循環、「幕別モデル」が確立された。

■ 「幕別モデル」のいま

書店の装備代の負担解消と福祉事業所の社会貢献につながる仕事の継続のため、図書購入費とは別に装備代を予算化している。

当初、1つの事業所から開始した装備作業は2事業所となり、地元中学校の図書館においても、図書館と同じ蔵書管理システムを導入していることから、公共図書館と同様の納品がされる仕組みをつくった。



図書館でのレクチャーの様子



福祉事業所で使用している
装備マニュアル(文面は加工)

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所	北海道幕別町新町122-7
人口	(図書館が所在する市町村) 2.6万人
職員数(うち有資格者数)	18人(11人)
蔵書数	約26万冊
※住所は本館データ	

取組の成果と今後

■ 取組の成果

- ・書店においては、装備代を図書館が予算化したことで負担減が図られた。
- ・福祉事業所においては、図書の装備という社会貢献度の高い継続的な仕事が、通所者の雇用と生きがいに繋がっている。
- ・書店、福祉事業所と連携することにより、双方が積極的に図書館づくりに関わるようになり、さらに関係性が深まった。

■ 取組の今後

- ・三者の連携による「幕別モデル」を継続することで、地域の読書文化をより一層発展させる。